



UTO から世界へ！ 第3号

第11回 STEAM 人材育成研究会に参加

2024年4月20日（土）15:00～17:00、本校生がオンラインで標記の会に参加しました。ルネサスエレクトロニクス株式会社 大谷 寿賀子 氏による講演「半導体とは何か～その作り方と使われ方～」のあと、5人のパネリストによるパネルディスカッションが行われました。

本校はSTEAM教育に取り組んでいますが、STEAMとは、Science, Technology, Engineering, Arts, Mathematicsの頭文字をとったものです。Artsとは、芸術、文化、生活、経済、法律、政治、倫理等を広く含んでいます。文系・理系といった枠にとられずに、各教科での学習を社会での問題発見・解決に生かしていくための学習を推進しています。パネリストの一人は、「教科書の通りにやって答えが出ることは1つもない。常に、なぜ？どうして？と問うこと、妄想することが大切」だとおっしゃっていました。講師やパネリストから高校生へのメッセージは以下のとおりです。

「ものの好きより生き方の好き！！を選ぼう」

「好きなコトに全力で取り組もう！」

「好奇心を大切に！前向きに挑戦しよう！世の中を変える原動力を目指そう！」

「好きなことを見つけよう。出会いを大切に。自分で限界をつくらない」

「知識がAIでも得られる時代。必要なのは変化をいとわない創造力。創造力⇔Well-being(人間力)」

講師の皆さんが共通して言われていたことは、「高校時代は、好きなことを全力でやった。よい出会いがあった。私は運がよかった。」ということでした。前向きに頑張っている人の周りには似たような人が集まってきて、結果的に運がよかったと感じるのだろうな、と思いました。教室内外で基礎学力をつけることは言うまでもありませんが、好奇心旺盛に、さまざまな人と会って、ワクワクするような体験をたくさんしてほしいなと思っています。宇土中学校・高校はそのような体験の機会を多く提供していきます。ぜひ、活用してください！

宇土中高生、海外技術者とAIテーマに交流会を実施！

2024年4月22日（月）17:00～18:00、本校生徒が、株式会社ワークスアプリケーションズとAIをテーマにディスカッションを行いました。ワークスアプリケーションズは、外国人観光客に日本の観光地を案内するAIを開発しておられ、その取り組みについて教えてくれました。ワークスアプリケーションズ所属のインド人技術者バラット様による英語のプレゼンを、本校のブルック先生、ライオン先生、伊藤先生が通訳して、生徒の皆さんに伝えました。専門用語の通訳はとても大変そうでした。ブルック先生は大学時代にコンピューターサイエンスを専攻されているので、難しい専門用語をわかりやすい英語に訳してくださいました。

少子化が続く日本では、外国人学生や労働者の獲得に向けて、動き出しています。日本語が世界の共通語となることはあり得ませんので、これから社会に出ていく生徒の皆さんは、大学の友人や会社の同僚と英語でコミュニケーションを取ることが普通となっていくことでしょう。また、日本のアニメや和食は海外でも人気が高く、大日本印刷はサンフランシスコに「東京アニメセンターin サンフランシスコ」を設置し、年間約10万人の集客を目指すそうです。豚骨ラーメン店「一風堂」はドイツとスペインに進出をすると発表しました。現在も15カ国に287店舗があるそうです。どの分野に進むことになっても、英語は必須です。

